



自ら掴む経営エッセンス!

(記事: 渡部成夫 過去記事も読めます⇒<http://idoina.com>)

8/12(火)

テーマ: 「思いと行動」

19社19名

講師: 千葉県倫理法人会女性委員長 佐藤 陽子 氏



1. 自己紹介

昭和23年生まれ。明るく前向きでイベント好き。目標を定めて、突っ走る。信条は、人のお役に立つこと「人の喜びわが喜びに」。「あと10年は元気いっぱいいたい」と話す佐藤陽子氏。

いつも笑顔で明るい佐藤氏だが、「元は心配性で意気地なしだったけれど、倫理のおかげで、心に心棒ができた。答えは全て菜の中にある」と、努力で自分を変えてきた実践者だ。人前で話すのが苦手なもの、司会を務めて克服した。

様々な苦難、どう乗り越えて今があるのか。

2. 化粧品販売のアルソアビジネスとの出会い

22歳で結婚し、3児に恵まれ、高度経済成長期の真っただ中で、旦那様が独立して建設会社を設立。「幸せを約束されたようだった」と感じていたが、28歳の時、旦那様が3千万円の不渡りを被り、毎日が溜息の日々に。婦人雑誌でアルソアの広告を見て、「生活費くらいは稼いで夫を助けたい」とその場で問合せた。「まさに即行即止、この問合せのおかげで今の自分がある」と振り返る。

早速研修会に参加し、良き先輩との出会いもあって、「自分が代理店になって、社屋を建てたい」と目標を設定。1つ3,000円の化粧品の販売から始めて、徐々に組織を大きくし、平成5年(45歳)で見事「販社」に昇格、平成7年には念願の社屋ビルを建設する。だが、目標を達成した途端、燃え尽き症候群で鬱状態になる。そんな時、埼玉県久喜市倫理法人会に誘われた。

3. 倫理法人会に入会した経緯

埼玉県久喜市倫理法人会の会員さんに、『職場の教養』を見せてもらった。毎月送ってくれると言ってくれたが、毎月1万円の会費と知り、悪いと思い、その人に毎月3千円を郵送していた。東金にはまだ倫理法人会がなかったからだ。「『職場の教養』は、私にとって宝物。それぐらい価値があった」という。そして、「他にもこれを求めている人がいるはずだ。1人でも多くの人に広めたいと思った」。3年後に東金市倫理法人会が設立され、友人と共に、待ちに待った入会を果たした。

4. 会長として正法人会設立の感動

当時の東金市倫理法人会は会員数50社程度、とてもアットホームな雰囲気の良い会だったが、なかなか会員が増えなかった。会長が普及で困っているのを見て、率先して女性会員を増やすうちに、倫理での役職も徐々に上がっていった。平成16年に「次の会長が決まるまでのつなぎでいいから」と頼まれて会長職を拝命した。

「気が引けたが、使命感で頑張った。会長が率先して頑張れば、他の役員もついてくると言うが、1年目は頑張っても誰もついて来てくれなかった。だから2年目は、どうすれば会員が増えるかをよく考え、会員が増える仕掛けづくりをした」という。

まず、「倫理音楽祭」という名のカラオケ大会を開き、休眠会員と新しい人を呼んで、懇親会でお互いに仲良くなった。次は、お花見、バーベキューなどで引き続き倫理に興味を持ってもらう場を設けつつ、和やかにお弁当を食べてから始まる経営者の集いを2~3度開催、徐々にその効果が表れ、会員数が増えていった。人脈を持つ人にもお願いに行った。「53社から104社を達成、夢のようだった。100社達成時には泣き合い、翌週から正法人会の行動旗を掲げてMSができると思うと嬉しかった」という。

5. これからの夢

佐藤氏には、今大きな苦難が訪れている。「2月に代理店から降格して、本当に辛くて涙も流した。夫と子供が合わなくて、離婚もした。でも、苦難福門。私に精神的な道を開かせてくれるために、今の苦難がある。最近、息子が自分から倫理に入会し、父の役に立ちたいと言ってくれた。結果的に幸せになる、そんな予感する。打つ手は無限、ピンチをチャンスと受け止めて頑張ります」と穏やかに語ってくれた。

次回 第890回MS! 8/19(火)6時~7時+朝食会 ホテルニューオータニ幕張(043-297-1777)

テーマ 「夢を叶える能力開発~右脳力(EQ)の使い方」 講師 特定非営利活動法人情緒教育研究所理事長 後藤 康雄 氏

できるできるやればできる!

明るく楽しくなければ倫理じゃない!

・会員120社・MS30名以上・美浜を美しく